

2016年12月9日

スバル 新型インプレッサ SPORT/G4が「2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞 ～ 2003年 レガシィ以来 13年ぶり2度目の受賞 ～

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会が主催する「2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー」の最終選考結果が本日発表され、富士重工業の新型「インプレッサ SPORT/G4」が日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞しました。スバルの受賞は2003年のレガシィ以来13年ぶり2度目となります。

新型「インプレッサ SPORT/G4」は、お客様に最高の「安心とゆしさ」を提供する事を目指し、次世代プラットフォーム“SUBARU GLOBAL PLATFORM”をはじめとした様々な新技術を投入。国産初となる歩行者保護エアバッグを標準装備し、「総合安全」と「動的質感・静的質感」の大幅向上を実現したモデルです。販売面では、10月13日の発表後約1ヶ月で月販目標の2,500台に対し、4倍超の11,050台を受注。特にスバルにお乗りのお客様以外からの受注が全体の51%を占め、これまで以上に幅広いお客様から支持されています。

代表取締役社長の吉永泰之は、「皆さまからご評価頂き、この度『インプレッサ』が荣誉ある賞を頂戴し光栄です。お客様・お取引先・株主の皆様の御支援に感謝すると共に、引き続き『安心とゆしさ』のクルマ作りを加速させます。」と述べました。

<2016 - 2017 日本カー・オブ・ザ・イヤーについて>

2015年11月1日から2016年10月31日までに日本国内で発表又は発売され500台以上の販売が見込まれる乗用車を対象。賞典は「日本カー・オブ・ザ・イヤー」「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」、部門賞「イノベーション部門賞」「エモーショナル部門賞」「スモールモビリティ部門賞」。

<ご参考>

商品情報の詳細については、「スバル 新型『インプレッサ』を発表～先行予約期間に約6,000台のご予約～」(ニュースリリース・10月13日発行)をご確認ください。 http://www.fhi.co.jp/press/news/2016_10_13_3045/



新型インプレッサ SPORT/G4